

## 学校評議員会の実施報告書

ホームページへの掲載	
済・未	3月〇〇日掲載予定

### 岐阜県立関特別支援学校

校長 岩 塚 政 司

学校住所 関市桐ヶ丘一丁目2番地

電話 (0575) 22-4238

- 1 会議の名称 岐阜県立関特別支援学校 学校評議員会
- 2 会議の構成 【 学校評議員 】
- 遠藤 俊三 関市社会福祉協議会会長
- (50音順) 小野木 秀夫 関市民生児童委員
- 白幡 久美子 中部学院大学短期大学部教授
- 中上 達美 社会福祉法人美谷会エリアちゅうのうみに管理長
- 林 映二 卒業生・Man to Man Animo 株式会社 Web 事業部マネージャー

#### 【 学校職員 】

岩塚 政司	校長	吉田 晃樹	小学部主事
本多 正和	教頭	杉本 雅晴	中学部主事
古田 智富	事務部長	今井 直弘	高等部主事

- 3 会議の目的 学校運営について地域住民や学識経験者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた活力ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成27年1月29日(木) 10:00~11:30  
岐阜県立関特別支援学校 小会議室  
評議員5名及び学校関係者評価委員1名、学校職員6名が出席  
会の内容(主な議題等)
- (1) 校長あいさつ
  - (2) 各部からの1年間の報告等について
  - (3) 卒業生の進路について
  - (4) 平成26年度の総括と反省(学校評価)について
  - (5) その他
- 事務部より 私費会計の適正管理について

#### 5 会議の概要

##### 校長挨拶

・日頃、いろいろなかたちで学校にご支援いただきありがとうございます。第1回学校評議員会以降、いろいろなことがありました。関特別支援学校が主管校として、10月には15年ぶりに岐阜県にて中部地区肢体不自由教育研究大会岐阜大会が開催されました。また、今年度は、自然災害の影響も多く、7月と10月には台風、12月には雪のため休校措置をとりました。さらに、8月の集中豪雨のため地下の機械室への浸水があり、電気関係やポンプ等に被害が発生し、第2学期の開始が危ぶまれたこと等がありました。総合化及び中濃特別支援学校分教室

- のための改修工事も、最終の第4期に入り、2月20日前後には終了予定となっています。
- ・本年度の重点的な取組の説明をさせていただきます。

校訓について

学校運営の重点 ①風通しのよい学校

②安全・安心な学校

③保護者の思いに寄り添った学校

④総合化を強みとして生かしていく学校

⑤指導方法の工夫・改善に常に取り組む学校

⑥地域への発信と地域からの学びを大切にする学校（開かれた学校づくり）

#### テーマ1 各部からの1年間の報告等について

小学部、中学部、高等部、舎務部の順にて以下についての説明を行った。

- (1) 児童生徒の実態
- (2) 本年度の成果と課題
- (3) 主な行事等

#### テーマ2 卒業生の進路について

特に高等部から、今年度卒業生10名の進路状況について報告する。

#### テーマ3 平成26年度の総括と反省（学校評価）について

「保護者等対象アンケート集計結果」の報告

「保護者等対象アンケート集計結果」の分析結果

全項目を総合的にみると肯定的評価は77%、否定的評価は11%、分からないは12%である。肯定的に評価した項目が昨年よりも減少したが、全体的には高いと言える。特に、「17 先生の教育への取り組み」「27 学校と医療機関との連携」については非常に高い評価を受けている。減少した項目では、「1 学校の基本方針」「4 児童生徒との信頼関係」「13 個別の指導計画」「14 職員の協力」で10%以上のマイナスであった。児童生徒、保護者との接し方や信頼関係作りに工夫が求められる。

「中学部・高等部生徒対象アンケート集計結果」の報告

「中学部・高等部生徒対象アンケート集計結果」の分析

教職員に対する信頼感が高いが、教職員の「7 授業の取り組み」については一生懸命さや明るさで肯定的評価が減少した。さらなる取り組みへの工夫が必要である。

「自己評価・学校関係者評価 報告書」の報告

学習活動・安心安全な学校生活・進路指導について

#### テーマ4 事務部 私費会計の適性管理について

岐阜県教育委員会の「公費・私費負担区分等ガイドライン」に対する当校の取組を報告する。

質疑・応答等

意見 1 学校祭の際のステージ発表に素晴らしいものが多かった。生徒のよさを引き出すようなさらなる演出等、先生方の努力や工夫に期待したい。学校祭の有志のステージパフォーマンスの際に、男子生徒が唄って踊るというパフォーマンスがあった。多くの生徒児童は車いす使用で、踊れなかったり、なかには唄えない者も多い。そうした児童生徒やその保護者の方が、あのパフォーマンスを観てどう思ったのかが気になった点である

意見 2 障がいはいくつに異なるので、児童生徒によってできること、できないことが異なっている。その児童生徒なりの課題を設定し、それをクリアしていくというのはよいことであると思う。高等部からお世話になっているが、それまでの小学校、中学校と思うと、生徒に課すハードルをしっかりと設定してもらっていると感じる。小学校、中学校の時は、先生方が全てお膳立てをしてくれていたが、高等部になって、「今度、司会をやるので、これを覚えなければならぬ」などと頑張っていて取り組んでいる姿が見られる。そういうものがよい刺激となり達成感を感じさせてくれている。

意見 3 日々、生徒に接している先生方の行為が、たまたま学校を訪れた第三者には理解されないことがある。外部からみてもなかなか分からないような工夫努力をしてみえようと思います。本日の説明でこの学校の取組は、よく分かりました。校長先生がお話しされたなかで、「開かれた学校」に大いに興味があります。地域との繋がりを大切にしたい。これは必ず生徒にとっても、先生方にとってもプラスになる。自分の小中学校での教員生活の経験からして実感しています。

意見 4 ボランティアの力をどんどん取り入れるとよい。今も取り入れられてみえるようだが、もっとも地域の方の力を活用してみたいと思います。野菜作り、校内清掃等できることはたくさんあるような気がしている。

学 校 ボランティアの方には今も協力していただいているが、地域という点では、これから積極的に取り組もうとしている。地域の方を講師として招いたり、学校の情報を地域に発信して、地域の方に学校のことを知っていただき、学校に来ていただく機会を増やすような取組を検討したりしていきたい。

意見 5 現在、短期大学部の生徒と関特別支援学校との交流を実施しているが、学生からはもっとも関特別支援学校の児童生徒と関わる時間を増やして欲しいという要望がある。双方の教育活動にとってのプラスになることであり、検討していただきたいと思います。  
2点について質問があります。1つは、総合化についての質問です。職員会議の持ち方、会計についてはどうなるのでしょうか、また、教員同士の連絡会議のようなものはあるのでしょうか。同じ施設で学習する以上、何らかの交流のようなものが必要なのではないのかと思うのですがどうなのでしょう。2つめは、生徒の資格獲得について、資格を獲得することが就職活動に有利になるのでしょうか。

学 校 1つめの質問について。基本的には別の学校なので、会議等はそれぞれの学校で進めて行くことになるが、情報連絡会議のようなものを関係する担当の所で開催することを考えている。第5棟の1階を中濃特別支援学校高等部に使用していただくが、特別教室は共有していくことになる。カリキュラムが異なるので同じ授業を受けるとはならないであろうが、行事等での参加の仕方を検討して生徒との交流を検討していくつもりである。将来の知的障がいを含む総合化の際には選考検査により、入学者を決定することになると思われる。中濃特別

支援学校には高等部もあり、そこの違いが明らかにならないと関特別支援学校に生徒が集まらず、中濃特別支援学校の狭隘化解消につながらないということも考えられる。中濃特別支援学校高等部との違いを出すためには、来年度関特別支援学校にやってくる中濃特別支援学校の生徒が関特別支援学校の校舎に来てよかったという感想を抱いて欲しいと思っている。組織は別ではあるが、双方の生徒が何らかの形で交流ができればと考えている。障がいが違うということは双方のよいところを引き出すことができるということである。一方ができないことを、他方が補うことができるという方法で何ができるかを検討していきたい。

2つめの質問について。資格を取得している生徒は、就職を希望する生徒が多く、就職先としても事務系を希望する者が多い。そのため、コンピュータを扱うことが前提となり、ビジネス文書検定、情報処理検定、簿記検定等は資格としてあった方が企業としては安心できると考える。また、英語検定や漢字検定については、それが就職に直結するとは思わない。しかし、当校には、自信の無い生徒が多い傾向があるので、生徒が自分で目標を決めて、その目標を達成していくという過程で、自信をもち、達成感を経験していくことに教育効果があると考えている。

意見6 総合化そして生徒の少子化は時代の流れであると思う。一方、中濃特別支援学校は児童生徒数が増加している。今後は、知的障がいへの理解を深め、広汎性発達障がいに対する見聞を深め、教員としての専門性を高めていただきたいと思います。

意見7 今年度も私の会社に、実習で高等部の生徒さんがこられました。生徒さんをみて思うのは、みんな真面目である。というか、真面目過ぎるのではないかと思ってしまう。真面目一本であるのは大切なことですが、真面目だけでは、より親密な付き合いができるような気がしないと思ってしまうこともあります。そのあたりも大切に指導をしてもらえたらと思います。

## 6 会議のまとめ

校長あいさつ

・最後にご意見がありましたが、我が校の児童生徒は真面目であると感じています。いろいろな学校で児童生徒をみてきましたが、本当にそう思っています。

本日は多方面に及ぶ様々な、そして貴重なご意見をありがとうございました。今後の学校運営に生かしていきたいと思えます。